

Column

—大丸有の緑地紹介—

ホトリア広場



人・環境・生きものをつなぐ「交流の森」



「ホトリア広場」は皇居外苑濠に隣接する、広さ約3,000m²の緑地広場。皇居の緑とつながるようクスノキやクスギを主体に構成されており、樹々の間を縫うように小川が流れ、緑と潤いのある景観と癒しのムードを生み出しています。また、多くの生きもののみかとなるような工夫が凝らされているのも、この広場の大きな特徴。企業・行政・NGO・専門家らと連携し、皇居外苑濠の生物多様性の保全や復元に取り組んでいます(濠プロジェクト(2018年から))。国交省が2024年度にスタートした「TSUNAG」にも認定されるなど、オフィス街にありがたながら、生きものたちとのつながりを感じられる空間です。

※「TSUNAG」とは、民間事業者等による良質な緑地確保の取組を、国が緑地の「質」と「量」の観点から評価・認定する制度。

●イチオシの取り組み



濠プロジェクト



皇居のお濠の泥の中に眠る種子から水草を再生し、お濠に生息する生きものの保全や誘致、普及啓発に取り組んでいます。現在、皇居で採取した泥から、すでにお濠からいなくなってしまった6種を含む11種の水草の再生に成功しています。

お申し込み注意事項

<申込期間>

イベントは全て事前申込制・先着順です。
定員になり次第受付を終了いたします。

<注意事項>

- 天候等により、やむを得ずプログラムの中止や一部内容を変更して実施する場合がございます。
- プログラム中止・変更の際は、各プログラム開催日の前日15:00までにPeatix等でご連絡を差し上げます。予めご了承ください。

詳細・お申込みはコチラ!

シゼンノコパン



スマホからもOK!

共催 東京建物株式会社、三井物産株式会社、三井不動産株式会社
三菱地所株式会社、エコツヅェリア協会

お問い合わせ先 エコツヅェリア協会 (大丸有シゼンノコパン担当) contact_env@ecozeria.jp

※ 東京建物、三井物産、三井不動産、三菱地所の4社は「大丸有エリア生物多様性連絡会(事務局:エコツヅェリア協会)」を組成し、生物多様性に配慮した質の高い都市の緑のネットワークを形成に向けて取り組んでいます。



ソトへ出よう。ソトを知ろう。

2025年度
春



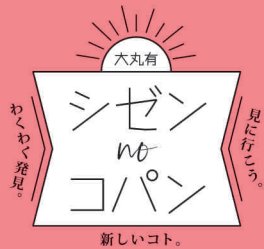
わくわく発見。



見に行こう。

新しいコト。





ソトへ出よう。 ソトを知ろう。

同じ場所で見ているのに、
見る人によってぜんぜん見え方が違う自然。
スペシャリストと共にいつものまちへ出かけると、
いままで気づかなかった自然が
あなたの目の前にきっと現れます。

大丸有でつながるアウトドアイベント
シゼンノコパン(『コパン』は仏語で『友達』)は、
皇居からつながる、大丸有(大手町・丸の内・有楽町)の
自然を通じて、人と人、人とまちがつながり、
新しいコトを見つける場です。



プログラム詳細・お申し込みはこちら→

4/16(水) 都市養蜂の現場を「観る」 ～蜜源植物と、ミツバチと～



時間 7:30～8:30 ※小雨決行(室内プログラム中心の内容に調整)・荒天時は中止
集合場所 大手町の森(エスカレーター付近) 参加費 ひとり500円 対象 どなたでも
定員 20名 ゲスト 山本 なお子(養蜂家/銀座ミツバチプロジェクト)



丸の内の養蜂はいよいよ10年目に突入! 本イベントではまちの緑と繋がる“都市養蜂”の可能性に目を向けます。皇居同様、蜜源となっている大手町の森を養蜂家とともに巡ってから、大手町ビル屋上「SKY LAB」の養蜂場を見学。役割分担が明確なミツバチの生態にもググッと迫ります。

5/17(土) 新緑のなかの生きものを「観る」 ～生きもの調査にも挑戦!!～



時間 13:30～15:30 ※小雨決行(室内プログラムの内容に調整)・荒天時は中止
集合場所 3x3Lab Future 参加費 ひとり500円 対象 親子(お子様は小学生以上)
定員 25名 ゲスト 佐藤 真人(インテアプリアター/NPO法人生態教育センター)

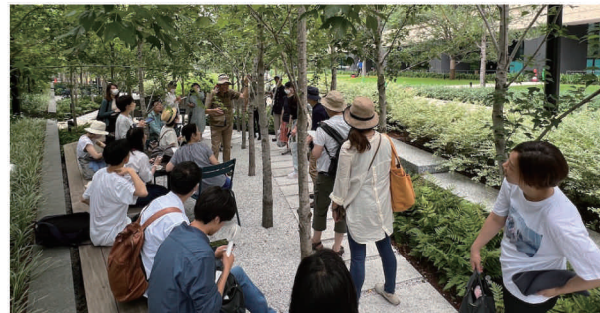


「国際生物多様性の日」(5/22)にちなみ、親子で都心部の生物多様性について考えてみませんか? 長年エリアの生きもの調査を行ってきたゲストの講義に続き、お外へ。表情の全く違う3緑地で初夏の生きもの探し&観察を行います。生きもの調査にも挑戦してみましょう!

6/21(土) 大丸有の植物に江戸を「観る」 ～人が利用してきた植物たち～



時間 10:00～12:00 ※小雨決行(室内プログラムの内容に調整)・荒天時は中止
集合場所 大手町の森(エスカレーター付近) 参加費 ひとり500円 対象 高校生以上
定員 20名 ゲスト 石井 誠治(樹木医)



丸の内界隈に生える植物で、明治以前から生き続ける種類はあるのでしょうか。このイベントでは江戸を感じさせる植物を探し、そこにある人間との物語を味わいます。植物の基礎知識から歴史的背景まで、幅広い知見が必要な職業、“樹木医”の奥深さもぜひ体感してください。

★「大丸有シゼンノコパン」では、大丸有(大手町・丸の内・有楽町)を舞台に、「まちの四季」「まちの生きもの」「まちの星空」「緑地を探ろう!」をテーマにしたプログラムを年間シリーズで開催します。